

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

Corteva Agriscience[™] は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : デリゲート WDG

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社

100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190

電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

生殖毒性 : 区分 2

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

: **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置:
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。
保管:
P405 施錠して保管すること。
廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0)	935545-74-7	25	-
二酸化チタン	13463-67-7	1.9	1-558, 5-5225 2-(3)-509
石英	14808-60-7	0.74	1-548

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

4. 応急措置

- | | |
|-----------------------|---|
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15~20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。 |
| 眼に入った場合 | : 眼を開いたまま 15~20 分水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
作業場内に適切な緊急用洗眼設備を設置すること。 |
| 飲み込んだ場合 | : 緊急医療措置は必要ない。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : 知見なし。 |
| 応急措置をする者の保護 | : ばく露する可能性がある場合は、第 8 項の保護具の情報を参照。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 特別な解毒剤はない。
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 適切な消火剤 | : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : 知見なし。 |
| 特有の危険有害性 | : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 |
| 有害燃焼副産物 | : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx) |

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

- | | |
|-----------|--|
| 特有の消火方法 | : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 粉じんの発生を避ける。
保護具を使用する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。 |
| 環境に対する注意事項 | : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。
追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | |
|----------|---|
| 安全取扱注意事項 | : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
飲み込まない。 |
|----------|---|

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

眼との接触を避ける。 皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。 漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。	
接触回避	: 強酸 強塩基類
保管	
安全な保管条件	: 密閉容器に保管すること。 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。 適切なラベルのついた容器に入れておく。 各国の規定に従って保管する。
混触禁止物質	: 強酸化剤
安全な容器包装材料	: 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
二酸化チタン	13463-67-7	OEL-M	0.3 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (吸入性粉塵)	1.5 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉塵)	2 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M	0.3 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
石英	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉塵)	0.03 mg/m3 (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 発がん物質、「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。				

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m3 (シリカ)	ACGIH
設備対策	: 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。 許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。 一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。			
保護具				
呼吸用保護具	: 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。 許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。 特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。 緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。			
手の保護具				
備考	: 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。 注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。			
眼の保護具	: 安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。 眼の不快感を引き起こす粒子に暴露する可能性がある時は、ケミカルゴーグルを着用する。			
皮膚及び身体の保護具	: 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。			

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 細粒
色	: 類白色
臭い	: かび臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
凝固点	適用なし
沸点／沸騰範囲	: 適用なし
可燃性（固体、気体）	: データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

爆発範囲の上限 / 可燃上限 値	: 適用なし
爆発範囲の下限 / 可燃下限 値	: 適用なし
引火点	: 適用なし
pH	: 8.7 (22.6 ° C) 方法: 測定値 (1%水溶性懸濁液)
蒸発速度	: 適用なし
かさ密度	: 0.5 g/cm ³ (21.8 ° C) 方法: かさ密度(タップ)
自然発火点	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: 適用なし
動粘度(動粘性率)	: 適用なし
溶解度	
水溶性	: 水中で分散する
蒸気圧	: 適用なし
密度及び／又は相対密度	
密度	: 適用なし
相対ガス密度	: 適用なし
爆発特性	: 非該当
酸化特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 高温にさらされると製品は分解する。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

混触危険物質	: 強酸 強塩基類
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 炭素酸化物 窒素酸化物 (NO _x)

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット、メス): > 5,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 425 症状: この濃度では死に至らない。 備考: 情報源: 内部試験報告書
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.28 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD 試験ガイドライン 403 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 症状: この濃度では死に至らない。 備考: 情報源: 内部試験報告書

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット、メス): > 5,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.50 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

二酸化チタン:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット): > 10,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット、オス): > 6.82 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 10,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

製品:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし

二酸化チタン:

結果	: 皮膚刺激なし
----	----------

石英:

結果	: 皮膚刺激なし
----	----------

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

二酸化チタン:

結果	: 眼への刺激なし
----	-----------

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

石英:

結果 : 眼への刺激なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

試験タイプ	: 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
種	: マウス
アセスメント	: 皮膚感作性なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 429
備考	: 情報源: 内部試験報告書
	: 呼吸器を過敏化させない。

成分:**スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

種	: マウス
結果	: 製品は皮膚過敏化性である、細区分 1B

二酸化チタン:

種	: マウス
結果	: 皮膚感作性なし

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

二酸化チタン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

石英:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

発がん性

製品:

発がん性 - アセスメント : 発ガン性分類は現状データからは不可能である。

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

二酸化チタン:

発がん性 - アセスメント : 2 件の生涯にわたる吸入試験で、二酸化チタンに暴露させたラットに肺線維症および肺腫瘍が認められた。このような影響は、きわめて厳しい試験条件に起因する、通常の呼吸器浄化機能の過負荷によるものと考えられる。職場で二酸化チタンに暴露した作業者には、慢性呼吸器疾患および肺がんの発生率の異常は認められなかった。実験動物での生涯にわたる混餌投与試験では、二酸化チタンは発がん性を示さなかった。

石英:

発がん性 - アセスメント : ヒトで発がん性を示した。実験動物で発がん性が認められた。人間の発癌性物質。

生殖毒性

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

生殖毒性 - アセスメント : 人に対する生殖毒性が疑われる物質
母体に毒性影響を起こした摂取量でも、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

石英:

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

成分:**スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

二酸化チタン:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

石英:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**成分:****石英:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

反復投与毒性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

備考 : 動物ではさまざまな組織で細胞空胞化を起こした。
これらの影響が生じる摂取量は、使用中の暴露による想定される摂取量の何倍も高い摂取量である。

二酸化チタン:

備考 : 粉塵に繰り返し過剰に吸入暴露すると、呼吸器官に影響があることがある。
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
肺。

石英:

備考 : ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている：
腎臓。
結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

誤えん有害性

製品:

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

物性上、誤えん有害性は低い。

二酸化チタン:

物性上、誤えん有害性は低い。

石英:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : EC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 12.52 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 203
備考: 情報源: 内部試験報告書

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 23.52 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 情報源: 内部試験報告書

藻類／水生生物に対する毒性 :
備考: 物質は、水生生物に対して高い急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50: 0.1~1 mg/L)。

ErC50 (珪藻 (Navicula 属)): 0.564 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 情報源: 内部試験報告書

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 4,000 mg/kg
曝露時間: 14 d
備考: 情報源: 内部試験報告書

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50: > 2,000 mg/kg)。

経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,250 mg/kg

備考: 情報源: 内部試験報告書

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): 0.079 µg/bee

曝露時間: 96 h

備考: 情報源: 内部試験報告書

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): 0.22 µg/bee

曝露時間: 96 h

備考: 情報源: 内部試験報告書

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

成分:**スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 2.69 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.229 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

LC50 (塩水アミ (Mysidopsis bahia)): 0.355 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験

EC50 (Chironomus riparius (ユスリカ)): 0.0031 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 1.06 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

ErC50 (珪藻 (Navicula 属)): 0.127 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

ErC50 (イボウキクサ (*Lemna gibba*)): > 14.2 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 7 d
試験タイプ: 半止水式

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 100
魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 0.182 mg/l
エンドポイント: 重量
曝露時間: 32 d
試験タイプ: 流水式試験

LOEC (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 0.392 mg/l
エンドポイント: 重量
曝露時間: 32 d
試験タイプ: 流水式試験

MATC (Maximum Acceptable Toxicant Level 最大許容毒性レベル) (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 0.267 mg/l
エンドポイント: 重量
曝露時間: 32 d
試験タイプ: 流水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.000062 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) : 試験タイプ: 流水式試験

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1,000
微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): > 10 mg/l
曝露時間: 3 h

土中生物に対する毒性 : LC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): > 500 mg/kg
曝露時間: 14 d

地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 2,250 mg/kg 体重

混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 5,620 mg/kg 餌

経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): 0.11 µg/bee
曝露時間: 48 h

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

二酸化チタン:

魚毒性 : 備考: この物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50: > 100 mg/L)。

NOEC (無影響濃度) 致死 (Leuciscus idus (コイの一種)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

石英:

魚毒性 : 備考: 水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

生分解性 : 好気性
接種: 活性汚泥
含有量: 20 mg/l
結果: 分解性なし
生分解: 0.1~9.1 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 不合格

二酸化チタン:

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

石英:

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

生体蓄積性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

生体蓄積性 : 種: Oncorhynchus mykiss (ニジマス)

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

生物濃縮因子 (BCF) : 348
曝露時間: 28 d

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4.49 (20 ° C)
(log 値) pH: 7
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3000、Log Pow: 3~5)

二酸化チタン:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可
(log 値)

石英:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可
(log 値)

土壤中の移動性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

環境中の分布 : 備考: 土壤中移動性がわずかである (Koc: 2,000~5,000)

二酸化チタン:

環境中の分布 : 備考: データなし

石英:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない

オゾン層への有害性**成分:****スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

二酸化チタン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

石英:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

他の有害影響

成分:

スピネトラム J & L (CAS# 187166-40-1 & 187166-15-0):

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。
物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

二酸化チタン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

石英:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を定める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Spinetoram)

国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (Spinetoram)

国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 956
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 956

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Spinetoram)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当 (Spinetoram)
備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (則34条の2 別表2)

化学名	含有量 (%)	備考
酸化チタン (IV)	>=1 - <10	-
結晶質シリカ	>=0.1 - <1	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条 (則30 別表2)

化学名	備考
酸化チタン (IV)	-
結晶質シリカ	-

がん原性物質 (労働安全衛生規則第577条の2)

化学名
結晶質シリカ (石英)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則;

デリゲート WDG

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
0.0	2025/05/09	800080000116	初回作成日: 2025/05/09

IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-1640

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA